

育ちの芽

みくにひじり幼稚園 副園長 奥村 綾

みくにひじり幼稚園では、入園時にお渡ししました『園のしおり』にもあるように、子どもの興味・関心・意欲を重視し、自由にのびのびと主体的に活動に取り組めるよう保育を展開しています。4つのキーワード『遊びが学び』『自己肯定感』『心も体もたくましく』『仲間づくり』を大切に、日々子ども達とかがわっています。

この度、平成30年4月に新幼稚園教育要領が施行され、これまでの5領域【健康・人間関係・環境・言葉・表現】から、【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 『10の姿』】として具体化されました。その中には、『主体的・対話的で深い学び』をより一層充実させることが重要であると記載されています。

それに伴い、本園においても、子どもの育ちにとって重要な活動や環境など、職員で話し合い、保育内容についての見直しをしました。その内容につきましては、今後、写真展示やみくにひじり通信などを通して、保護者の皆様へ発信していきます。

本園の教育目標である『子どもらしい子ども、明るく、たくましくやさしい情緒豊かな子どもに育てる』を念頭に置きつつ、『遊び』の中にある『子どもの育ち』についての、振り返りや話し合いを重ねながら、子どもの健やかな成長を願い、保育していきますので、保護者の皆様のご理解、ご協力よろしく申し上げます。

なお、裏面に【幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 『10の姿』】を記載しました。これは、評価ではなく、卒園までの子どもの成長を考える視点と目安です。年長が子どもの成長のゴールではなく、これまで別のものとして捉えられがちだった、幼児期の姿と小学生の姿をつなげ、子どもたちの成長を連続的なものとして捉える際に役立つことが期待されます。興味のある方はご一読ください。

うきうきタイム

(年少組は6月末より参加予定)

登園後、朝の準備(ホルダーを出す・出席ノートにシールを貼る)を済ませ、自分で室内か戸外を選び、片付けの合図があるまで、約40分間自由に遊びます。自分で選べるということで、子ども達は、毎日この『うきうきタイム』を楽しみにしています。

☆毎年この時期、新しいクラスに馴染むまで時間がかかる進級児が、『うきうきタイム』で前のクラスの友達と自由に遊べることで安心し、新しいクラスに慣れるまでの時間が、いつもより早いように感じました。

制作・絵画

以前の、一斉に取り組むスタイルから、自分のタイミングで取り組むコーナー設定にしました。

子どもが、意欲をもって取り組めるよう導入を工夫したり、さまざまな素材や色の選択ができるように環境を整えています。

☆一斉に作っていた時にも、それぞれ子どもの工夫は見られましたが、自分のタイミングで取り組めることと、選択肢が増えたことで、子どもの発想の幅が広がり、個性が表れた作品になっています。

めばえ

子どもが描いた絵を、1年間まとめ『めばえ』として年度末にお渡ししていましたが、今年度からは、その都度、持ち帰ります。子どもが描いた絵をすぐに持ち帰ることで、描いた時の気持ちやお話をリアルタイムに聴けると思います。家庭で保管していただき、1年の成長をお楽しみください。

☆年少組で、クレパスで自由に絵を描いた時「今日持って帰ってママに見せたい!!」と言ったり、年中組でも、こっそりお家に持って帰った子がいました。子どももすぐにお家の人に見せたいんですね。